

7 地域防災について

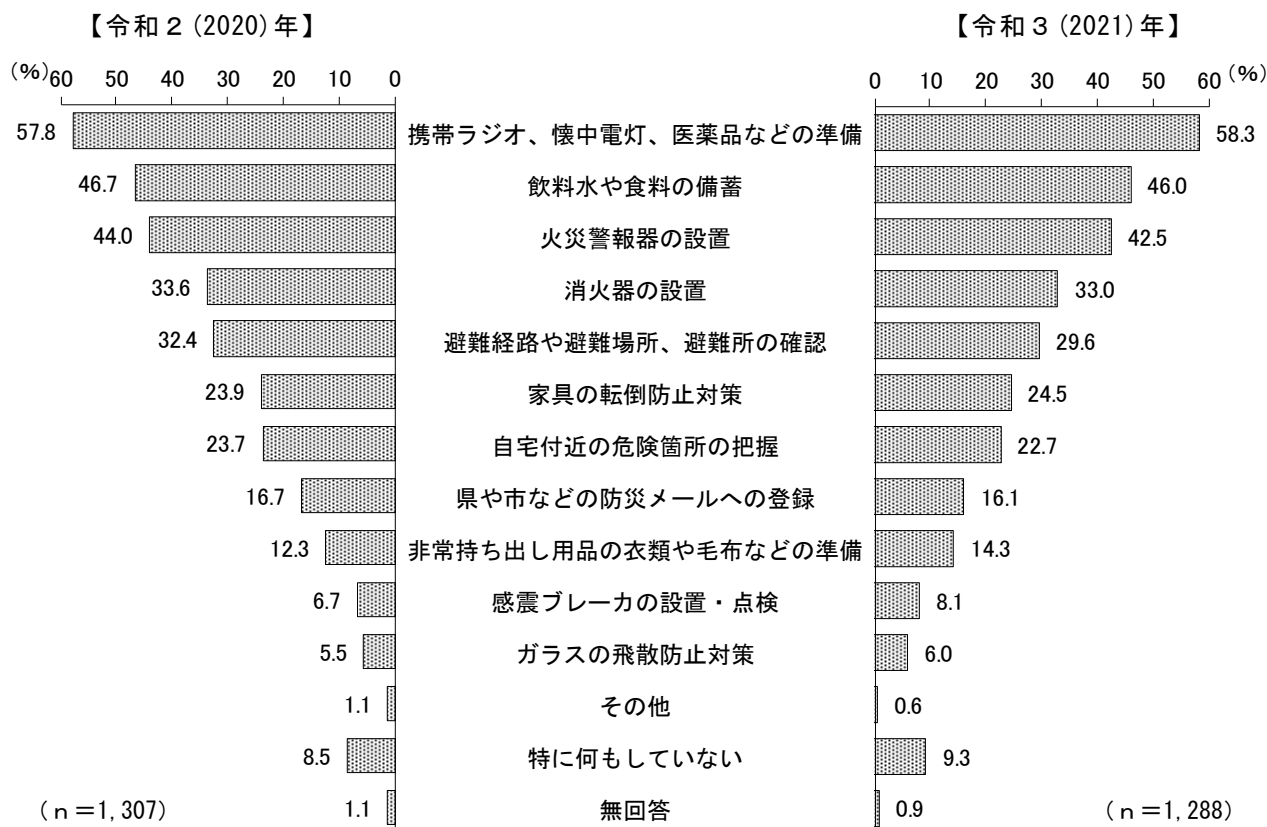
(1) 災害に対する備え

問19 あなたの家庭では、災害に対してどのような備えをしていますか。次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,288]

1	消火器の設置	33.0%	8	感震ブレーカ(※)の設置・点検	8.1%
2	火災警報器の設置	42.5	9	避難経路や避難場所、避難所の確認	29.6
3	家具の転倒防止対策	24.5	10	県や市などの防災メールへの登録	16.1
4	ガラスの飛散防止対策	6.0	11	自宅付近の危険箇所の把握	22.7
5	飲料水や食料の備蓄	46.0	12	その他	0.6
6	携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などの準備	58.3	13	特に何もしていない	9.3
7	非常持ち出し用品の衣類や毛布などの準備	14.3		(無回答)	0.9

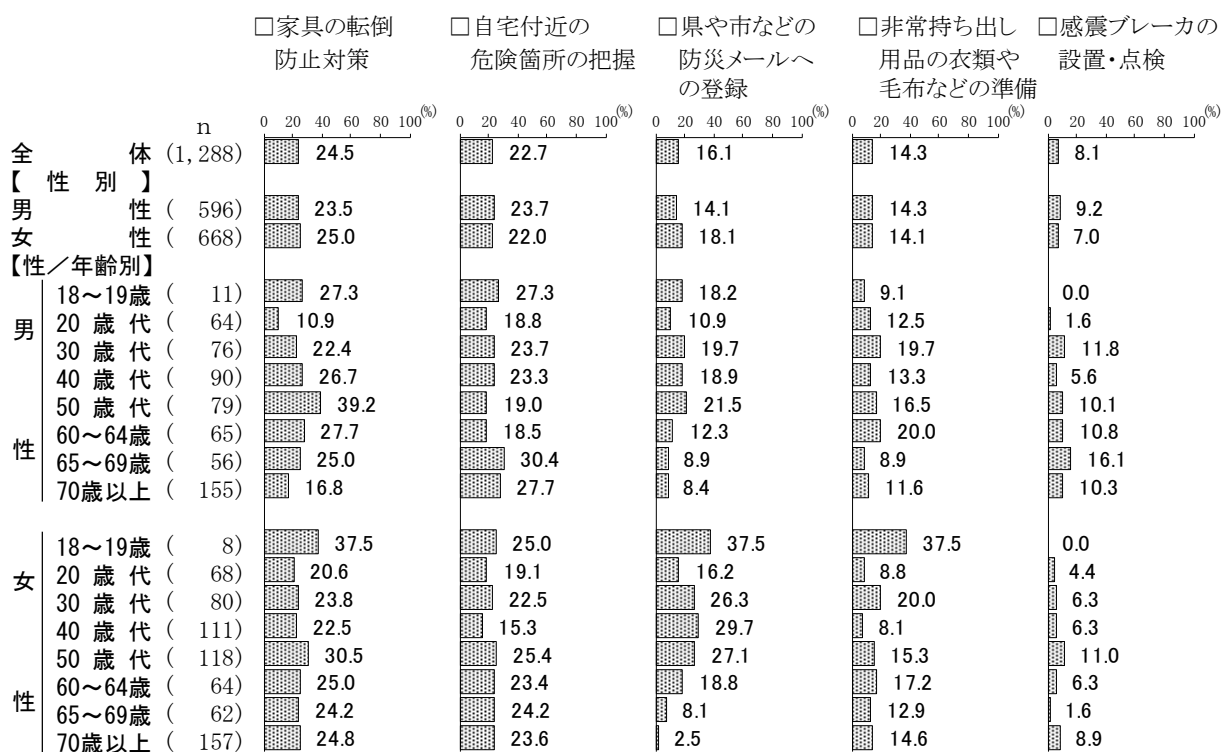
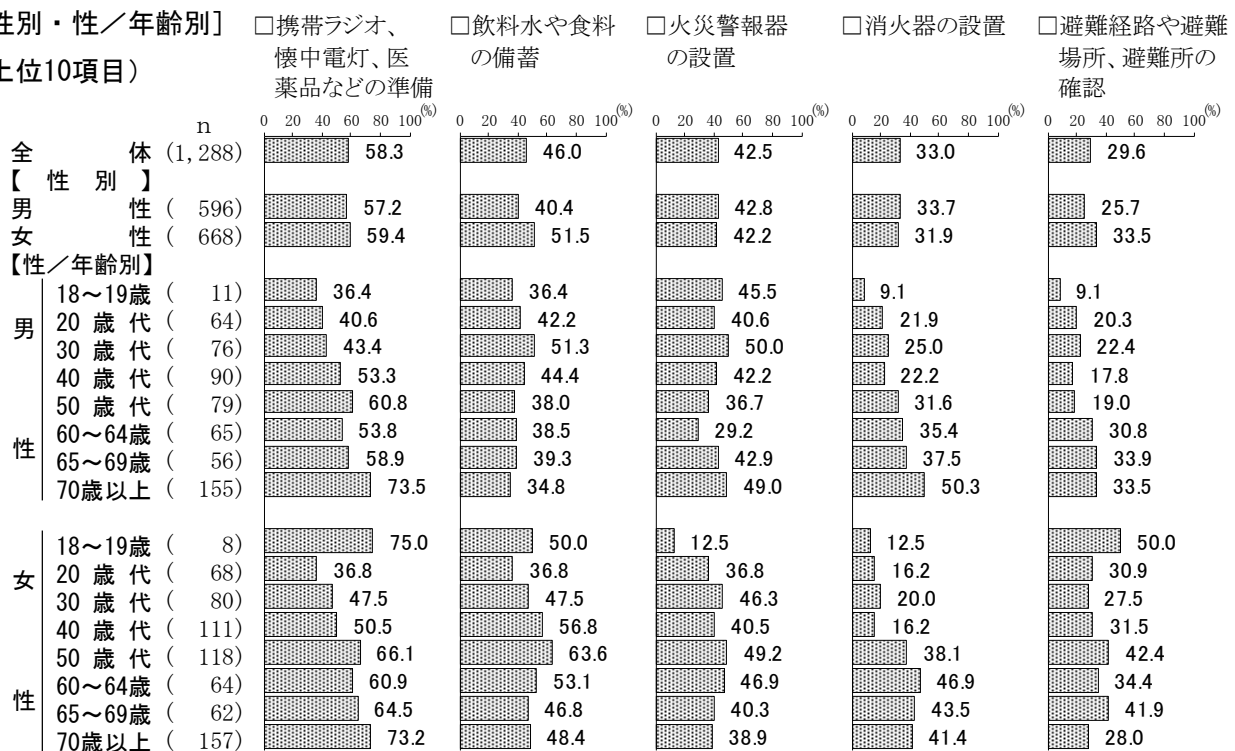
※ 感震ブレーカとは、地震の揺れをセンサーが感知し、あらかじめ設定しておいた震度以上の場合に電力の供給を遮断する器具をいいます。



全体で見ると、「携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などの準備」(58.3%)が6割近くで最も高く、次いで「飲料水や食料の備蓄」(46.0%)、「火災警報器の設置」(42.5%)、「消火器の設置」(33.0%)、「避難経路や避難場所、避難所の確認」(29.6%)の順となっている。

前回(令和2(2020)年)の調査結果と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。

【性別・性／年齢別】
（上位10項目）

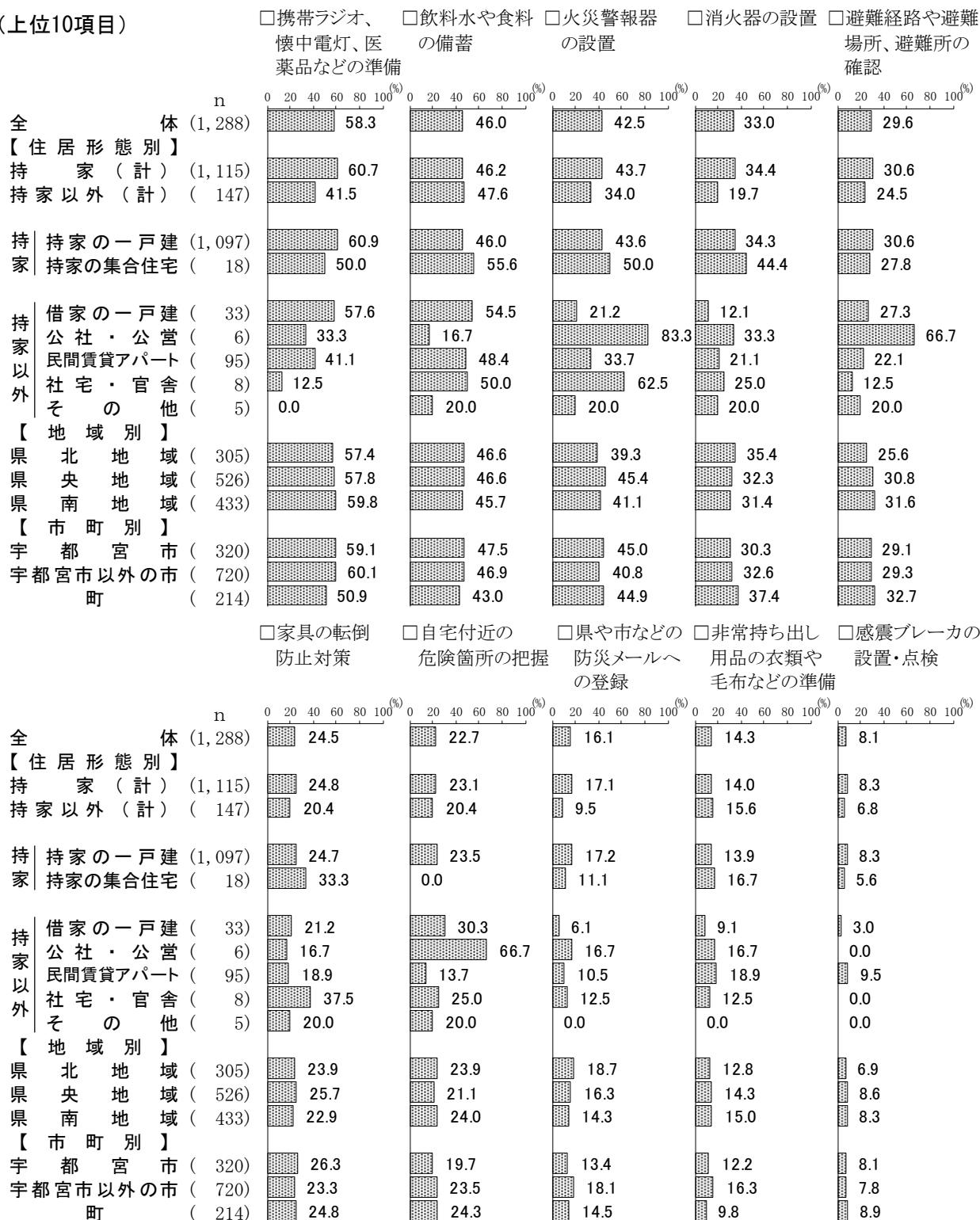


性別で見ると、「飲料水や食料の備蓄」では〈女性〉（51.5%）が〈男性〉（40.4%）より11.1ポイント高くなっている。「避難経路や避難場所、避難所の確認」では〈女性〉（33.5%）が〈男性〉（25.7%）より7.8ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などの準備」では〈男性70歳以上〉が73.5%、〈女性70歳以上〉が73.2%と高くなっている。「飲料水や食料の備蓄」では〈女性50歳代〉が63.6%と高くなっている。「消火器の設置」では〈男性70歳以上〉が50.3%と高くなっている。「家具の転倒防止対策」では〈男性50歳代〉が39.2%と高くなっている。「県や市などの防災メールへの登録」では〈女性40歳代〉が29.7%、〈女性50歳代〉が27.1%と高くなっている。

[住居形態別・地域別・市町別]

(上位10項目)



住居形態別でみると、「携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などの準備」では〈持家 (計)〉(60.7%) が〈持家以外 (計)〉(41.5%) より19.2ポイント高くなっている。「消火器の設置」では〈持家 (計)〉(34.4%) が〈持家以外 (計)〉(19.7%) より14.7ポイント高くなっている。

地域別・市町別では、大きな傾向の違いはみられない。

(2) 災害の際に必要な情報について知っていること

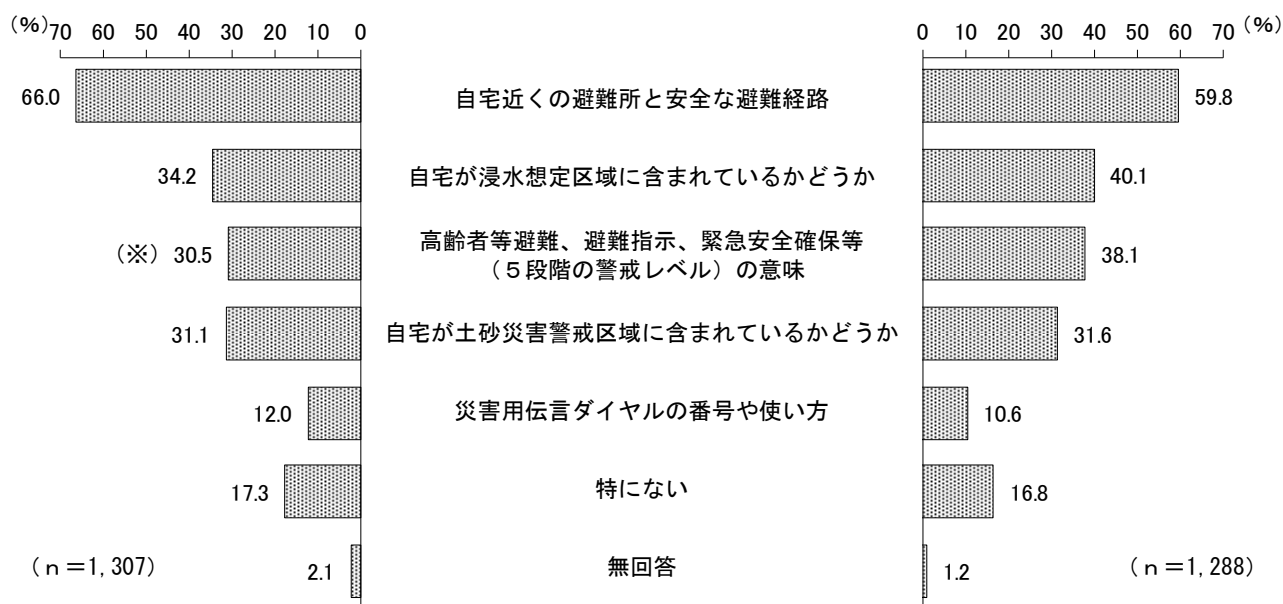
問20 あなたは、災害の際に必要な情報について、どのようなことを知っていますか。
次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,288]

1	高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保等（5段階の警戒レベル）の意味	38.1%
2	自宅近くの避難所と安全な避難経路	59.8
3	自宅が土砂災害警戒区域に含まれているかどうか	31.6
4	自宅が浸水想定区域に含まれているかどうか	40.1
5	災害用伝言ダイヤルの番号や使い方	10.6
6	特になし	16.8
	(無回答)	1.2

【令和2(2020)年】

【令和3(2021)年】

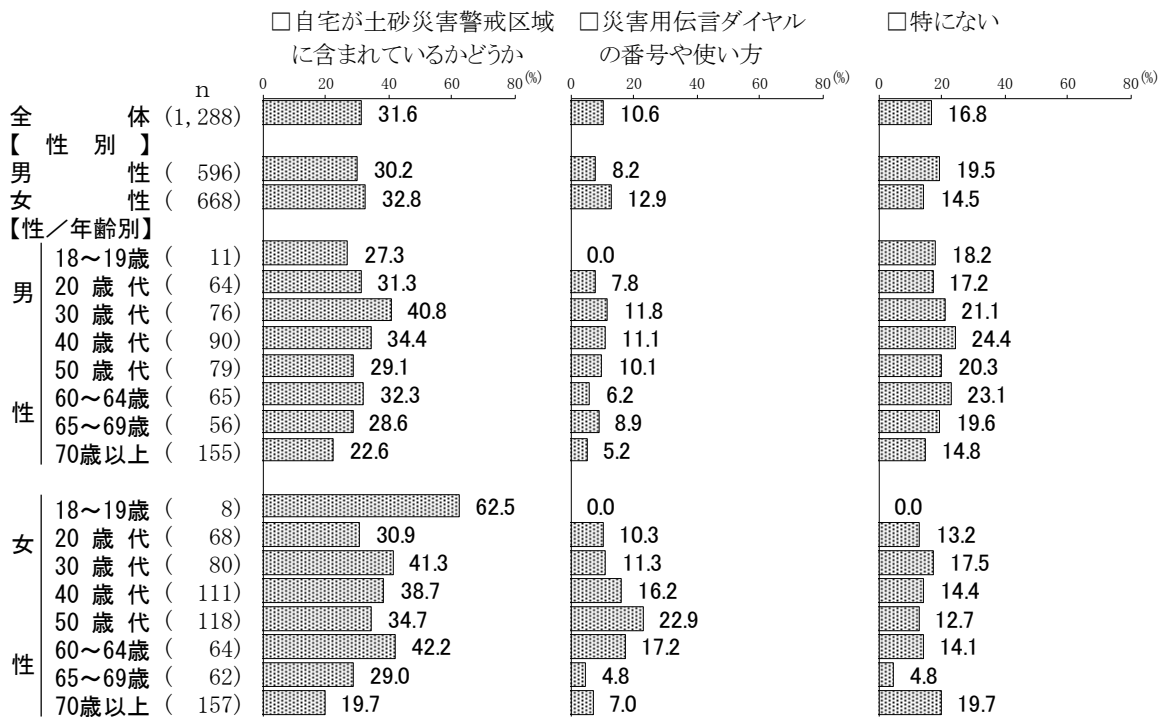
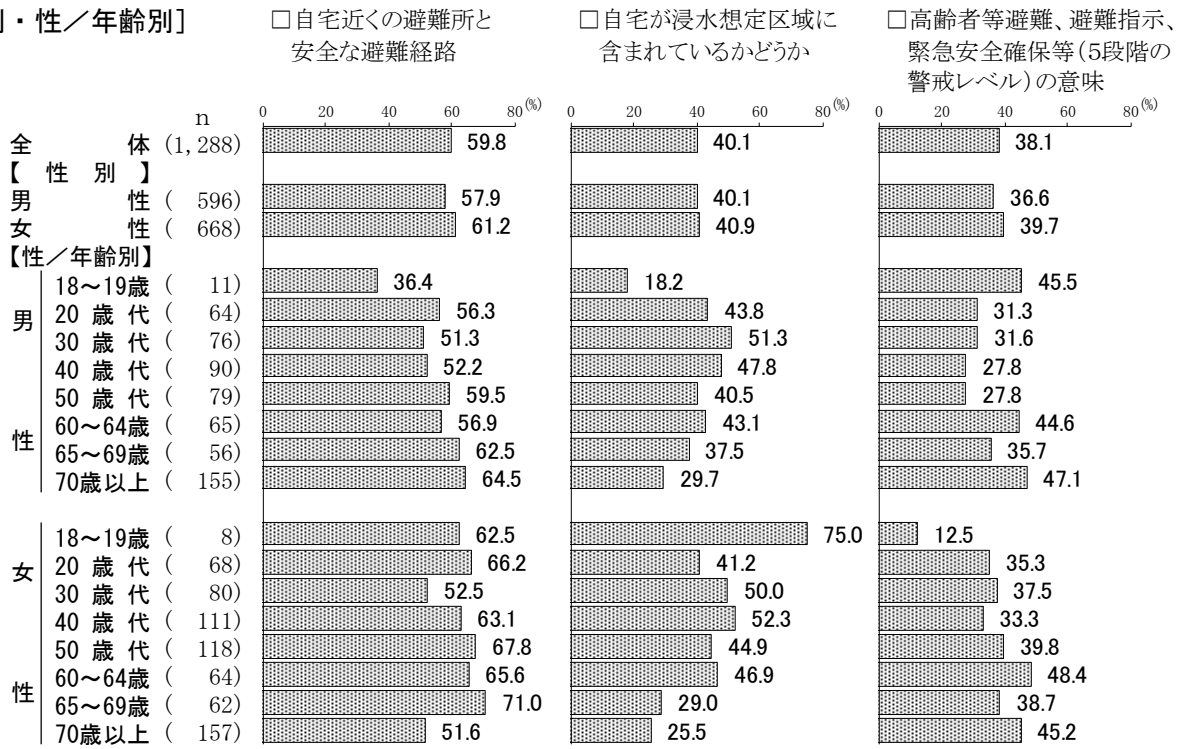


(※)「高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保等（5段階の警戒レベル）の意味」は、令和2(2020)年調査では「避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示（緊急）の意味及び発令されたとき取るべき行動」としていた。

全体でみると、「自宅近くの避難所と安全な避難経路」(59.8%)が6割で最も高く、次いで「自宅が浸水想定区域に含まれているかどうか」(40.1%)、「高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保等（5段階の警戒レベル）の意味」(38.1%)、「自宅が土砂災害警戒区域に含まれているかどうか」(31.6%)、「災害用伝言ダイヤルの番号や使い方」(10.6%)の順となっている。

前回(令和2(2020)年)の調査結果との比較は、一部選択肢が変更されているため参考にとどまるが、「自宅近くの避難所と安全な避難経路」が6.2ポイント減少している。「自宅が浸水想定区域に含まれているかどうか」は5.9ポイント増加している。

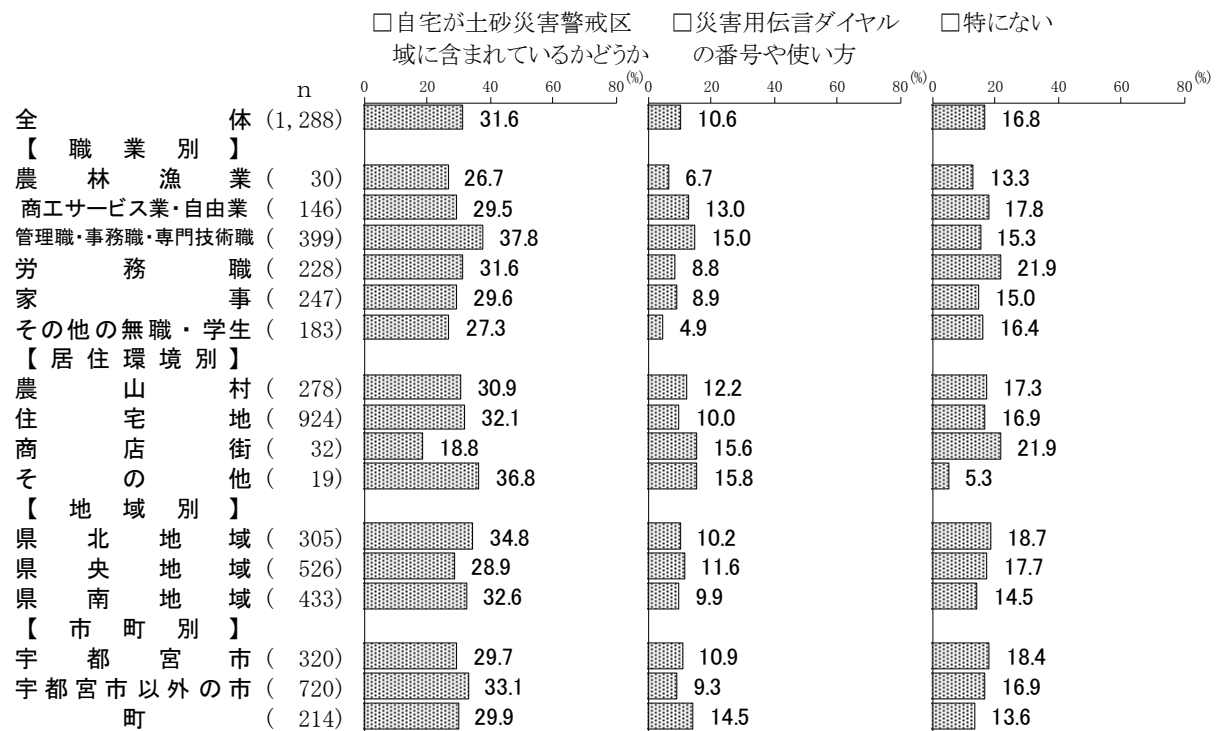
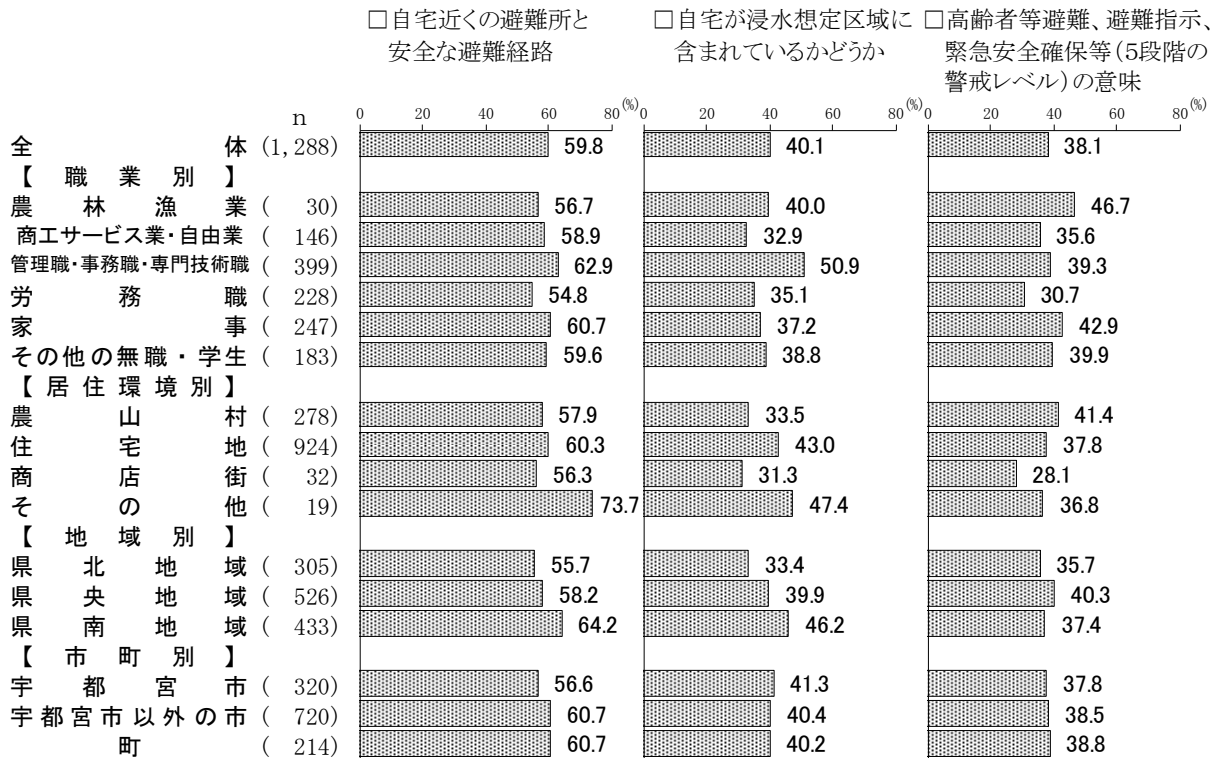
[性別・性／年齢別]



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別でみると、「自宅が浸水想定区域に含まれているかどうか」では〈女性40歳代〉が52.3%と高くなっている。「災害用伝言ダイヤルの番号や使い方」では〈女性50歳代〉が22.9%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別でみると、「自宅が浸水想定区域に含まれているかどうか」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が50.9%と高くなっている。「自宅が土砂災害警戒区域に含まれているかどうか」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が37.8%と高くなっている。「災害用伝言ダイヤルの番号や使い方」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が15.0%と高くなっている。

居住環境別でみると、「自宅が浸水想定区域に含まれているかどうか」では〈住宅地〉が43.0%と高くなっている。

地域別でみると、「自宅が浸水想定区域に含まれているかどうか」では〈県南地域〉が46.2%と高くなっている。

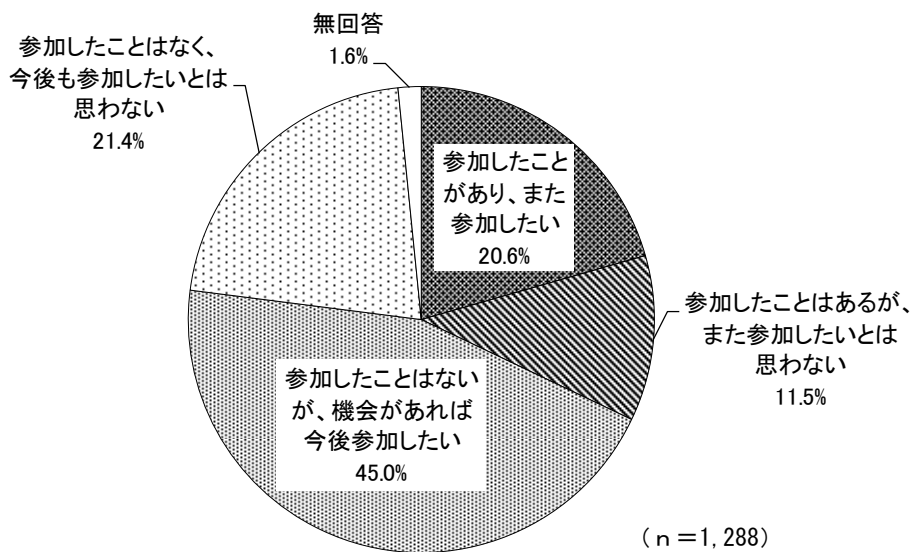
市町別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

(3) 防災訓練の参加状況

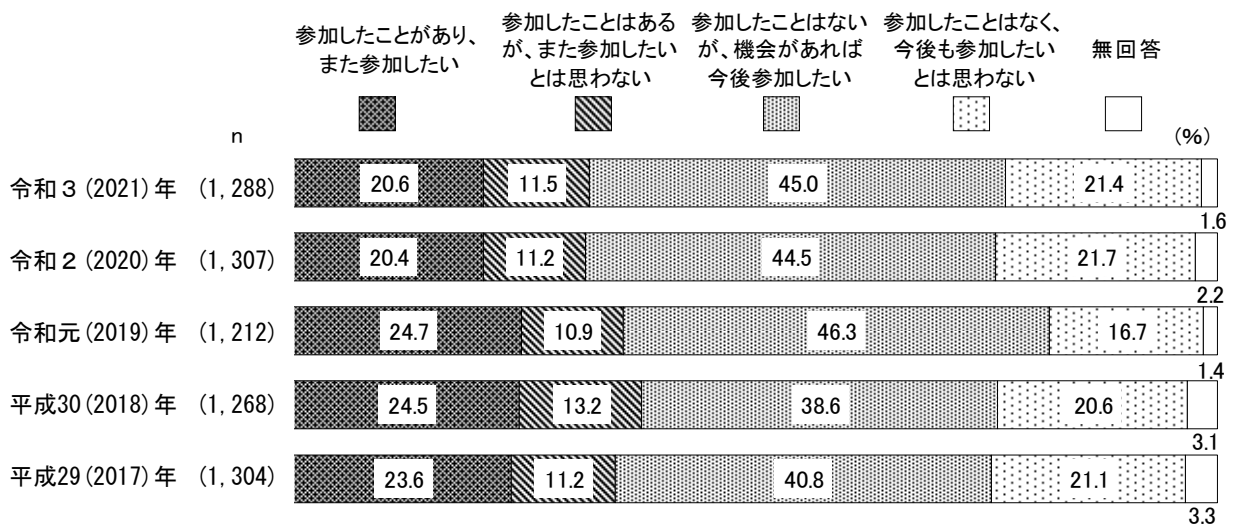
問21 あなたは、県や市町、自治会、企業などが行っている防災訓練に参加したことがありますか。また、今後参加したいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,288]

1	参加したことがあります、また参加したい	20.6%
2	参加したことはあるが、また参加したいとは思わない	11.5
3	参加したことはないが、機会があれば今後参加したい	45.0
4	参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない	21.4
	(無回答)	1.6

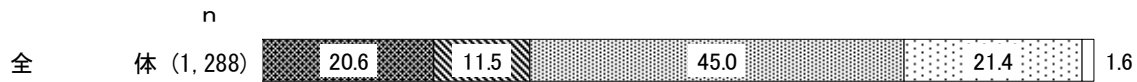
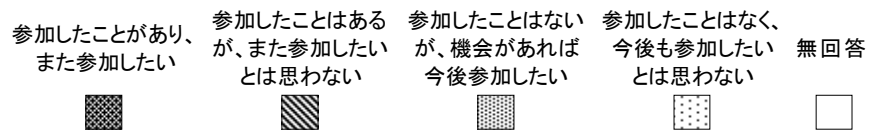


全体で見ると、「参加したことがあります、また参加したい」(20.6%)がほぼ2割となっている。「参加したことはないが、機会があれば今後参加したい」(45.0%)は4割半ば、「参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」(21.4%)は2割を超えている。

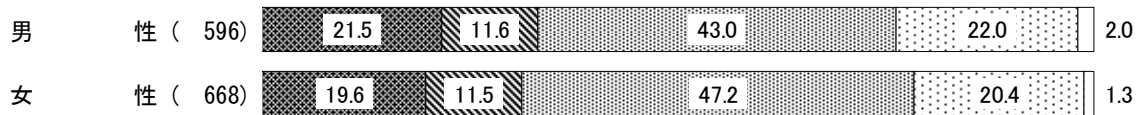


過去の調査結果と比較すると、前回(令和2(2020)年)と大きな傾向の違いはみられない。

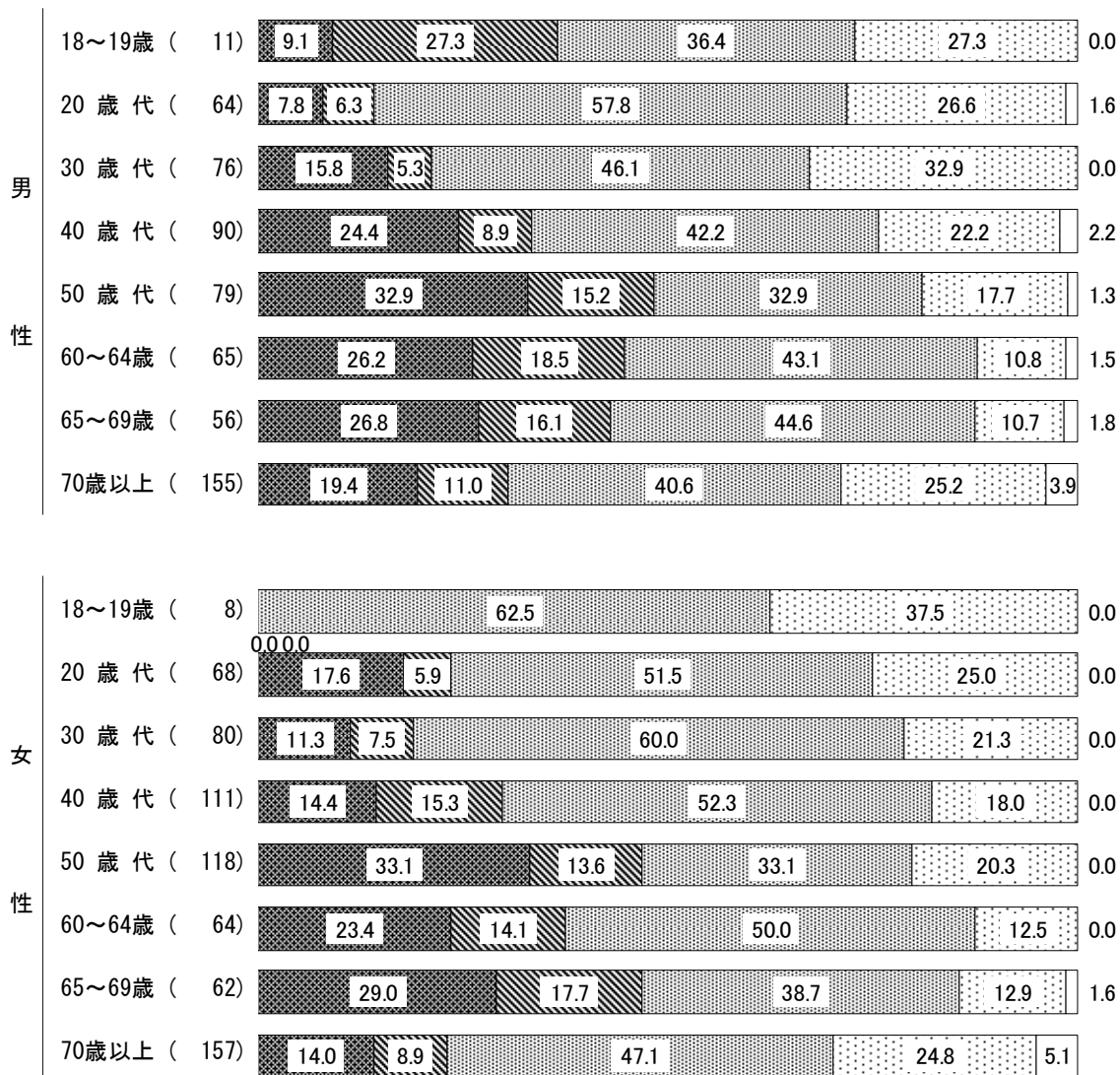
【性別・性／年齢別】



【性別】 (%)



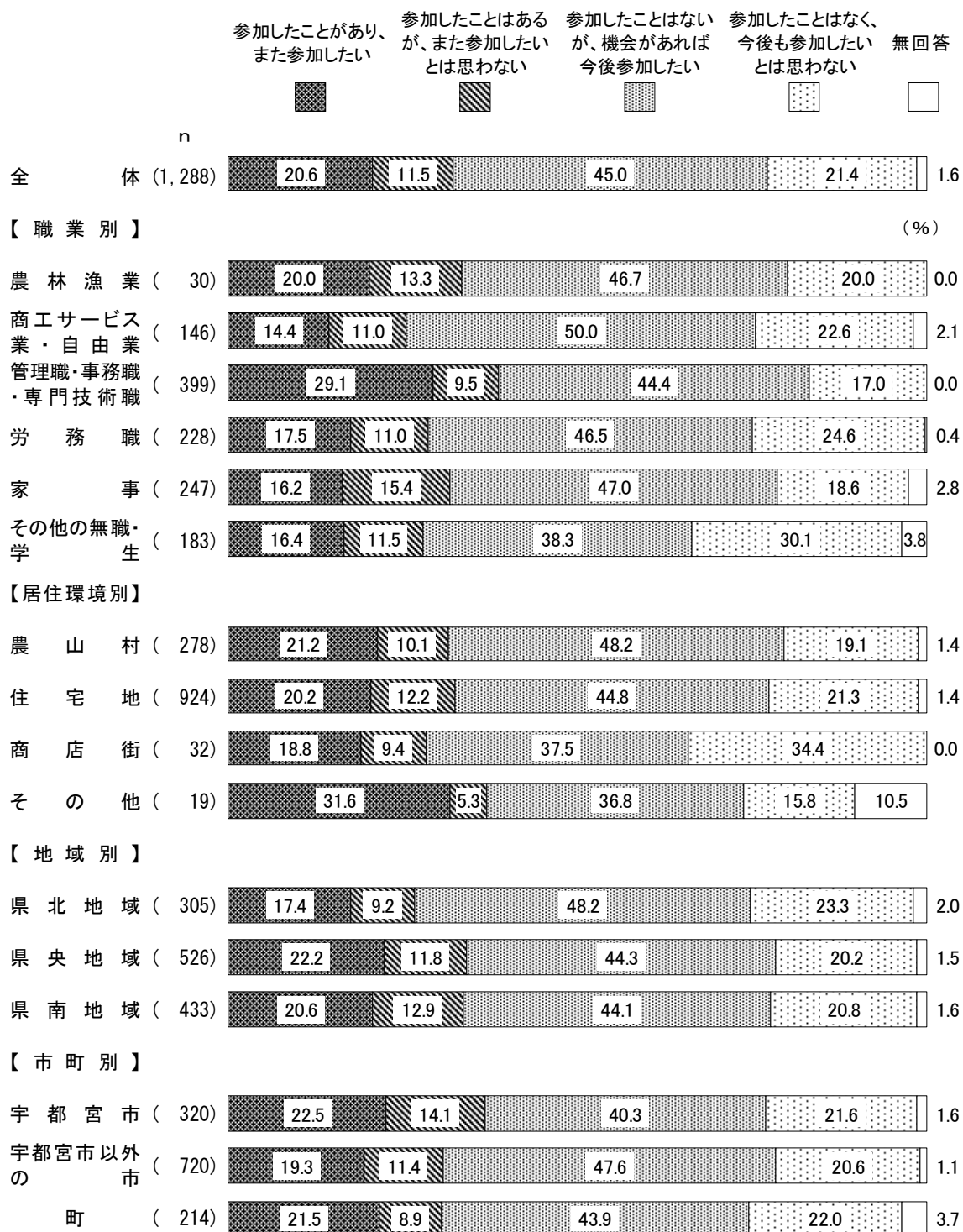
【性／年齢別】



性別でみると、「参加したことはないが、機会があれば今後参加したい」では〈女性〉(47.2%)が〈男性〉(43.0%)より4.2ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「参加したことがあり、また参加したい」では〈女性50歳代〉が33.1%、〈男性50歳代〉が32.9%と高くなっている。「参加したことはないが、機会があれば今後参加したい」では〈女性30歳代〉が60.0%、〈男性20歳代〉が57.8%と高くなっている。「参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」では〈男性30歳代〉が32.9%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別でみると、「参加したことがあり、また参加したい」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が29.1%と高くなっている。「参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」では〈その他の無職・学生〉が30.1%と高くなっている。

居住環境別でみると、「参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」では〈商店街〉が34.4%と高くなっている。

地域別でみると、「参加したことはないが、機会があれば今後参加したい」では〈県北地域〉が48.2%と高くなっている。

市町別でみると、大きな傾向の違いはみられない。